

新情報システム「鉄道Webサービス」の運用開始について

平成22年4月14日

従来、お客様が利用しているコンテナの輸送状況把握には電話やFAXが使われているため、手間がかかるなどの不便がありました。そこで、利用運送事業者は「鉄道Webサービス実証委員会」を設置し（事務局：ヤマト運輸株式会社）、当社と連携してお客様へ迅速に情報提供する取り組みを行ってきました。

平成22年4月1日から「鉄道Webサービス利用促進協議会（改称）」は、お客様へのサービス提供を主目的とする「鉄道Webサービス」を開始しました。当社はコンテナ位置情報を「鉄道Webサービス」を通じて提供し、お客様へのサービスアップを図っています。

1. 新情報システムの名称 「鉄道Webサービス」(URL <http://www.z-mail.jp>)

2. 「鉄道Webサービス利用促進協議会」構成会社（五十音順）（4月1日現在）

（株）合通、札幌通運（株）、センコー（株）、中央通運（株）、トナミ運輸（株）、JR貨物、ヤマト運輸（株）、他14社

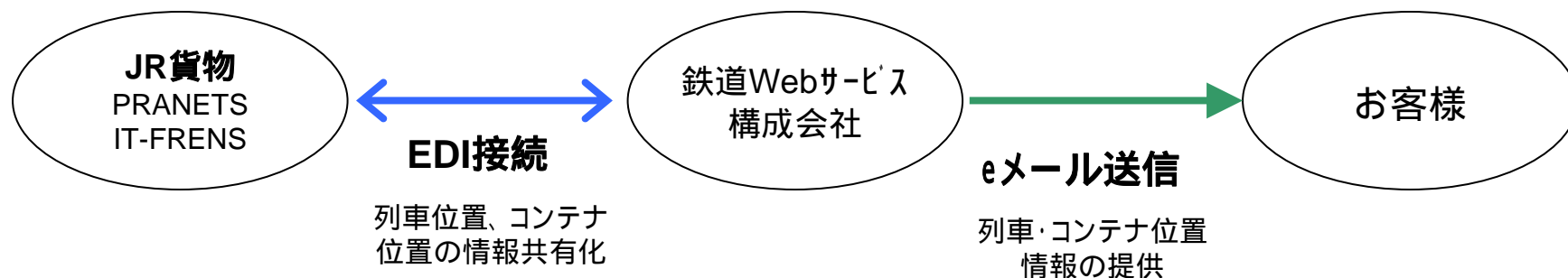
3. システム概要図 別紙

4. サービス内容

- (1) インターネットに接続できるパソコンがあれば登録するだけで利用でき、導入も運用コストも不要です。（登録料金、会費不要）
- (2) 鉄道輸送中およびトラック配達中の最新の輸送情報がリアルタイムに提供されます。
- (3) 鉄道輸送により、トラック輸送と比較して削減できたCO₂削減量が案内されます。

別紙

「鉄道Webサービス」のシステム構成イメージ



「鉄道Webサービス」のメリット

お客様の鉄道コンテナの輸送状況に対する、次のような課題が解消されます。

